

T J K直営健診センターを受診するみなさまへ（お知らせ）

T J Kでは受診者のみなさまに安全に検査を受けていただくために、健診における注意事項及び禁忌事項をお知らせしております。

下記の検査における禁忌事項に該当する方は、検査を受けることはできませんのでご確認をお願いいたします。

1）体脂肪測定

- ・ ペースメーカーまたは埋め込み式除細動器・埋め込み型心電計を装着している方
※ 体内に微弱な電流を通し測定するため誤作動を起こす可能性があります。
- ・ インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自身で取り外しができない方

2）胸部X線

- ・ 妊娠または妊娠している可能性のある方
- ・ インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自身で取り外しができない方

3）胃部X線検査

- ・ 妊娠または妊娠している可能性のある方
 - ・ 人工透析中の方（令和6年4月～）
 - ・ 慢性腎疾患にて水分制限のある方（令和6年4月～）
 - ・ インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自身で取り外しができない方
 - ・ 健診での測定時に血圧が180mmHg/110mmHg以上の方
※ 高血圧の方は降圧剤を内服してきてください
 - ・ 体重が140kg以上の方
※ 胃部X線装置（寝台）に許容重量があります
 - ・ 胃部X線機器寝台の上で体位変換が困難な方や立位の姿勢とることができない方
 - ・ その他、診察にて医師が検査困難と判断した方（令和6年4月～）
- * 硫酸バリウムに対する禁忌、副作用について詳細を次ページでお知らせしています。

4）骨密度検査

- ・ 妊娠または妊娠している可能性のある方
※ X線を使い骨量測定しています
- ・ インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自身で取り外しができない方

5) マンモグラフィー

- 妊娠または妊娠している可能性のある方
- インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自身で取り外しができない方
- ペースメーカーまたは埋め込み式除細動器・埋め込み型心電計を装着している方
- 豊胸手術をしている方
- 脳内シャントを造設されている方

6) 婦人科検査

- 135kg以上の方
※ 婦人科診察台に許容重量があります
- 妊娠または妊娠している可能性のある方

胃部検査について

胃部検査についてX線検査または内視鏡検査のいずれかを予約時に選択して受診することができます(胃部内視鏡検査の検査枠には限りがあります)。

胃部内視鏡検査をご受診の場合、C健診(人間ドック)、B健診(生活習慣病健診)の受診料金に追加料金2,750円(2023年4月1日受診分より変更)が加算されます。

禁忌(胃部内視鏡検査)

<経口・経鼻共通>

- 1) 麻酔薬(キシロカイン)のアレルギーのある方
- 2) 紫斑病などの出血傾向のある方
- 3) 吐血・黒色便等症状がある方
- 4) 東中野: 体重**150kg**以上の方
西新橋: 体重**135kg**以上の方
(検査台の荷重制限のため)
- 5) 妊娠中の方、妊娠の可能性のある方
- 6) 麻痺などのある方で体位の保持ができない方
- 7) 虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症発作)発症後、3ヵ月以内の方
- 8) その他の心臓疾患・てんかん・ぜんそく等で重篤な発作を起こす可能性のある方

* 糖尿病でインスリンを使用中の方は、インスリンの使用等につき主治医の確認のうえ、お申込みください。

* 当日の心電図所見・血圧・体調等により医師の判断で内視鏡検査が中止になる場合があります。

経鼻内視鏡を検討されている方で、下記9)～11)の経鼻内視鏡禁忌事項に該当される場合は、経口内視鏡での検査となりますのでご確認ください。

- 9) 鼻血が出やすい方、抗凝固剤や血小板薬を服用中の方（令和6年4月～）
10) パーキンソン病の治療でMAO阻害薬を服用中の方（令和6年4月～）
11) 人工透析中の方

※ 9) に該当する薬剤がある方は心筋梗塞・脳梗塞などの発症リスクが増大する可能性がありあますので休薬しないでください。詳細は事前郵送物をご確認ください。

* 鼻の通りが悪い等、経鼻内視鏡が挿入できないと医師が判断した場合、経口内視鏡に変更になる可能性がありますのでご了承ください。

胃部X線検査で服用する硫酸バリウムについて

TJK直営健診センターでは人間ドック（C健診）と生活習慣病健診（B健診）の検査項目に硫酸バリウムを服用する胃部X線検査がありますが、ごくまれに副作用を起こすことがあります。

禁忌（胃部X線検査は受けられません）

- ・ 過去に硫酸バリウムを服用してアレルギー症状を起こしたことがある方
- ・ 消化管穿孔（消化管に穴が開く）、急性出血、腸閉塞またはその疑いがある方
- ・ 大腸ポリープを1ヶ月以内に切除された方
- ・ 消化器、循環器で現在治療中または処置された方を含め、診察によって検査実施が困難と判断された方

副作用

- ①胃部X線検査後に副作用としてまれに過敏症（アレルギー症状）を起こすことがあります。

症状

じんましん、気分不快、顔色が青白くなる、手足が冷たくなる、喉が詰まる、息苦しい

- ②消化管内にバリウムが停留することにより、まれに消化管穿孔（[当センターにおける事例について](#)）、腸閉塞、腹膜炎、虫垂炎を起こすことがあります。

硫酸バリウムの停留による消化管穿孔・腸閉塞・腹膜炎・虫垂炎を防止するための注意事項

- ・ 検査後はできるだけ早くバリウムを排泄させましょう。特に高齢の方は消化管運動機能が低下していることが多いため十分注意しましょう。
- ・ 便秘ぎみの方は、事前にお申し出ください。
- ・ 検査後に受け取った下剤は、必ず指示通りにできるだけ多くの水で服用してください。
- ・ 帰宅後もできるだけ多くの水分を摂ってください。
- ・ 便意を感じなくても定期的にトイレに行くように心がけてください。
- ・ 検査当日の飲酒はお控えください。
- ・ 検査後の数日間にバリウム便が排泄されない場合や腹痛などの症状があらわれた場合には、直ちに医療機関にご相談ください。

健診当日には、胃部X線（バリウム）検査終了後、検査担当者より口頭ならびに文書で、検査後の注意点について説明させていただいておりますので、必ずご確認くださいようお願い申し上げます。